

10 物語文を読む

学年
組
名前

♪ 声に出して何回も読んでみましょう。
劇の台本を読むように感情をこめましょう。

1 次の文章を読んで、後の問いに答えましょう。

夕方になって、ようやく孝とまさゆきは、沼にたどり着いた。この沼をぬければ、友達のおる君の家だ。あともう少しだと思うと、二人の足取りも軽やかになった。ところが、沼を過ぎた田んぼ道で、二人は顔を見合わせた。「どうしよう。」

「道がいっぱいあって、どっちに行けばよいか、わからないよ。」二人は、力なく、その場にすわりこんでしまった。

「そうだ。さっきの沼の近くに、地域の地図が書いてある案内板が立っていたよね。あそこで、確かめてみよう。」

二人は、立ち上がると、全力で今来た道をもどっていった。

① 沼にたどり着いたときの二人のどんな様子から、うれしい気持ちが伝わってきますか。

二人の足取りも軽やかになった。

② 沼を過ぎた田んぼ道で、二人のどんな様子から、がっかりした気持ちが伝わってきますか。

二人は、力なく、その場にすわりこんでしまった。

③ 線「全力で今来た道をもどっていった。」様子から、どんな気持ちが伝わってきますか。後の□から選び、書いてみましょう。

・とおる君の家の方向が、わかるかもしれないと（期待）する気持ち

不安 期待 満足 いろいろ